

## 第7回 IODP 部会・執行部会

### 議事録(案)

日時 2006年2月15日(水)  
時間 13:30~17:00  
会場 海洋研究開発機構 東京事務所 10階 役員会議室

出席者: 18名

執行部員

鈴木徳行(北海道大学)・阿波根直一(北海道大学)・白井正明(東京大学)・山本啓之(JAMSTEC)・  
荒井晃作(産業技術総合研究所)・木戸ゆかり(JAMSTEC)・石橋純一郎(九州大学)・海野進(静岡  
大学)・山田泰広(京都大学)・巽好幸(JAMSTEC)

MEXT: 宮崎貴雄

JAMSTEC/CDEX: 伊藤久男

JAMSTEC: 鷲尾幸久・川村善久・笹山岳大

事務局: 山川 稔・長橋 徹・増田由衣

欠席者: 佐柳敬造(東海大学)・佐藤時幸(秋田大学)

#### 議事次第

1. 第6回 IODP 部会・執行部会議事録 [資料7・1]
2. IODP SAS 会議報告
  - ・SPPOC 報告(巽)
  - ・EDP 報告
  - ・STO 報告(阿波根)
  - ・国際パネルローテーション報告(事務局) [資料7・2]
3. 新しい専門部会体制について(鈴木部会長)
4. 研究航海報告会の開催について(鈴木部会長)
5. J-DESC 予算執行状況(事務局) [資料7・3]
6. 平成18年度予算(案)作成にあたって
  - 基本方針
    - 乗船研究関連
      - ・来年度支援予算(乗船旅費など)について(事務局)
      - ・乗船研究者の公募・選出・決定等の文書化報告(事務局) [資料7・4]
    - 普及/広報活動支援
      - ・IODP 大学&博物館キャンペーンの来年度の予定について(事務局) [資料7・5]
  - 検討事項
    - ・会員提案型活動経費の仕様変更について(事務局)
    - ・IODP-ICDP Workshop の旅費支援について(事務局) [資料7・6]
7. J-DESC 総会開催について(鈴木部会長)
8. J-DESC 法人化準備状況について(鈴木部会長)
9. CDEX の来年度前半の予定説明ならびに J-DESC (専門部会等の開催時期・内容等)への要望について(JAMSTEC/CDEX 伊藤)
10. 報告事項

- ・ IODP Management Forum, IODP Dayについて (鈴木部会長)
- ・ 日本版Management Retreat (青山, 12月12日) について (鈴木部会長)
- ・ IODP乗船者アンケートについて (阿波根) [資料7・7]
- ・ 海洋環境の保全に関する国際情勢 (山本)
- ・ J-DESC人材関連案概要報告 (木戸) [資料7・8]
- ・ 大学 & 博物館キャンペーンの協力者 (大学・研究機関の職員) への「サンクスレター」送付について (木戸) [資料7・9]
- ・ 「国際会議開催文書について」のアンケート結果報告 (事務局) [資料7・10]
- ・ J-DESC事務局よりの要請事項 (事務局) [資料7・11]
- ・ J-DESCホームページ (HP) の整備について (事務局) [資料7・12]
- ・ J-DESC新パンフレットについて (事務局) [資料7・13]
- ・ J-DESCニューズレターについて (事務局) [資料7・14]

## 議事内容

### 1. 第6回 IODP 部会・執行部会議事録 [資料7・1]

第6回 IODP 部会・執行部会議事録 (承認済) を確認し、修正等のコメントがあれば今週中に事務局に申し出る。

### 2. IODP SAS 会議報告

SPPOC 会議報告 (巽)

- ・ ミッションプロポーザルの受付は、今年の10月1日、または、来年の4月1日と流動的である。昨年9月のSPCでアプルーブされていないので、3月のSPC会議でもう一度議論し、4月のBOGで大枠固め、6月のSPPOCで詳細を決める予定。
- ・ SPPOCの機能強化のため、SPPOC内で幹事会(4人会)をつくることになった。SPPOC議長・副議長、Long Range Working Group議長、Evaluationの議長で構成。

EDP 報告

報告なし

STP 会議報告 (阿波根)

- ・ 「ちきゅう」でのVP・Vs Measurementとして加圧下での計測をSPCに推薦する。
- ・ 各IO独自のデータベースの統合、データの質の管理、ポストクルーズ後のデータのデータベースへの統合の検討 (IODP-MI 主導)
- ・ JOIDESの後継船は、JOIDESを改造する、船上分析項目の検討/確認
- ・ 各IO独自のデータベースの統合に関して、J-DESCとしての対応を検討する (阿波根)

国際パネルローテーション報告 (事務局) [資料7・2]

SPPOC: 深尾委員より1月の会議で退任の申し出があったが、ローテーションに従い、次回会議まで任期であることを連絡する (担当: 事務局)

木村委員 (BOGよりのリエゾン) が1月の会議で退任。後任はBOGから選出

SPC: 川端委員が3月の会議で退任予定

SSEP: 荒井委員・小川委員・海野委員が昨年11月の会議で退任 (後任の3名を公募中)

SSP: 佐藤委員・保柳委員が2月の会議で退任予定

EPSP: 加藤委員が昨年12月の会議で退任 (後任委員選出の手続き: 事務局)

STP: 難波委員が1月の会議で退任 (後任委員選出の手続き: 事務局)

EDP: 鎌田委員が1月の会議で退任、後任として同所属先の福原氏が選出された

IS-PPG: 会議開催無し。委員の任期については、対応する専門部会で検討・確定する

- ・ 新規に選出されたパネル委員の任期について分かりにくい部分があることから、事務局が対策

を講じることになった。

### 3. 新しい専門部会体制について（鈴木部会長）

SSEP の体制変更等に伴い新たな専門部会の体制を確立する。新専門部会の会長が決まり、各分科会長には 2 月中に 4 名の委員の推薦をお願いしている（総会での承認が必要）。

- ・科学推進専門部会（仮称） 部会長：丸山明彦（産総研）
- ・地下圏生物分科会 分科会長：丸山明彦（産総研）
- ・地球環境分科会 分科会長：長谷川卓（金沢大学）
- ・地球内部分科会 分科会長：小原泰彦（海上保安庁）
- ・来年度乗船予定がないため、明確なタスク（プロポーザル育成、委員のローテーション等）を要請する。
- ・組織改組には、会則の変更が必要になるため事務局が原案を作成し、メールにて執行部会で承認して頂く。（小泉委員会の体制・会則も同様に変更）

### 4. 研究航海報告会の開催について（鈴木部会長）

東大海洋研の川端氏と執行部会専門部会の担当者（海野、佐藤、山本、石橋、白井、巽）で日程調整し、標記報告会を定期的開催する予定。

- ・会場確保は、川端氏が担当（ORI）
- ・講演者は、J-DESC 執行部で指名する
- ・対象は、絞らない（オープン）

### 5. J-DESC 予算執行状況（事務局） [資料 7・3]

- ・事務局より、平成 17 年度予算執行状況の説明があった。

### 6. 平成 18 年度予算（案）作成にあたって

#### 基本方針

#### 乗船研究関連

来年度支援予算（乗船旅費など）について（事務局）

- ・ AESTO への委託先が地球深部探査センター（CDEX）から経営企画室国際課に変更。
- ・来年度の予算には、乗船研究費の項目が追加。
- ・予算作成 / 業務の実施体制等について、3 月に鈴木部会長、阿波根部会長補佐と AESTO 事務局が打合せ予定。
- ・ J-DESC としてのプロポーザル作成へ取組みに関して改めて議論が必要。

乗船研究者の公募・選出・決定等の文書化報告（事務局） [資料 7・4]

- ・内容を確認して、修正等のコメントがあれば今週中に事務局に申し出る。
- ・ 2/9 の国内締切の段階で、# 312 New Jersey Margin への日本人乗船希望者は 0 人。当該担当者と信州大学の保柳さんを中心に対応を検討中。
- ・ 2 月に韓国が IODP に正式参加予定。我が国の乗船枠の韓国への適応について検討が必要。

#### 普及 / 広報活動支援

IODP 大学 & 博物館キャンペーンの来年度の予定について（事務局） [資料 7・5]

- ・大学 & 博物館キャンペーンの在り方について議論が必要。
- ・名古屋開催での J-DESC での運搬費の負担については引き続き検討する。

#### 検討事項

会員提案型活動経費の仕様変更について（事務局）

- ・後期募集に対して 2 件の申請しかなかった。活動経費の使用法（旅費など）に改善が必要ではないか。
- ・旅費支援については、経費の最終目的はプロポーザル提出 / 促進化が必須のため、それに関連

するなら旅費としての使用も認めてもいいのではないか。目的が合っていれば使用項目は緩和にし、成果が出て次につながるようにすれば年間1つや2つでもいいのではないか。

- ・来年度は、プロポーザル作成支援（ライザー掘削やCDP等が中心）がJAMSTECから追加されるので、会員提案型活動経費と調節し効果的に使っていく。
- ・コメントを反映させて、AESTO事務局と相談して予算案を検討する。

IODP-ICDP Workshopの旅費支援について（事務局） [資料7・6]

- ・東京大学の木村氏より、標記旅費支援として会員提案型の経費を使用したいとの提案があり、別の形で支援することを確定した（木村氏へ連絡する）。
- ・支援対象条件案としては、ポスドク以下、ポスター発表する、予めワークショップに申し込んだ（2/21締切）の条件を満たしていること。
- ・手続きとしては、予算執行に係わるので総会の承認が必要。
- ・支出方法（例えば、ポスター作成費名目等）金額を事務局と相談する。
- ・IODP-MIからの支援などについては、組織委員会メンバーの1人である伊藤久男氏より問い合わせをして頂く。
- ・陸上掘削部会（2/22 陸上掘削部会・執行部）で検討して頂く。
- ・本件について、IODP-MI担当者に確認を取る。

#### 7. J-DESC 総会開催について（鈴木部会長）

事務局から4月5日～15日の期間で正会員の方に日程調整を行う。

#### 8. J-DESC 法人化準備状況について（鈴木部会長）

J-DESCの法人化へ向けて、会計の明確化、財政基盤の確立等の課題が挙がっている。

#### 9. CDEXの来年度前半の予定説明ならびにJ-DESC（専門部会等の開催時期・内容等）への要望について（JANSTEC/CDEX 伊藤）

「ちきゅう」運用目標は、

1. IODPと科学掘削が中心
2. グローバルな展開
3. 我が国への掘削技術の移転
4. 多様な掘削ニーズへの対応

CDEX 科学支援室の3本柱

1. 掘削提案の支援
2. 科学成果の発信
3. 国際運用への準備

「ちきゅう」の予定

- ・5月中旬にドック出航、6月に関西で一般公開（2箇所）、7月中旬に下北沖にてライザー掘削（約90日間；coring, cutting/mud logging）。
- ・2007年9月より南海トラフ掘削、同時期にSODVも並行して南海トラフ掘削。

J-DESCへの協力要請

- ・国際パネル会議に合わせた専門部会の日程の調整
- ・ISPのLong Term Monitoringに関する体制の確立のサポート
- ・J-CORESの高度化
- ・南海トラフ以降の掘削プロポーザル（CDP）の提案

#### 10. 報告事項

IODP Management Forum、IODP Dayについて（鈴木部会長）

- ・Management Forumは3月29、30日にソルトレイクで開催予定。スモールグループ提出のレ

ポート、IODP の長期的な資金獲得方法、国際的なアウトリーチの進め方、他の国際的なプログラムとの連携等について検討。

- ・ IODP Dayは翌日に開催予定で、鈴木部会長がJ-DESCの活動報告をする。

日本版Management Retreat（青山，12月12日）について（鈴木部会長）

- ・ 日本として、ミッションプランを継続して行くことを確認。

IODP 乗船者アンケートについて（阿波根） [資料7・7]

- ・ 本年度中に実施予定。
- ・ 内容を確認して、コメント等があれば今週中に阿波根氏に連絡する。

海洋環境の保全に関する国際情勢（山本）

- ・ InterRidge より、海洋調査における環境への取り扱いに関する行動規範の改訂版が出された。
- ・ プロポーザルを上げる段階で、海洋環境の保全に関する国際情勢を認識 / 検討し、忠告すること（周知徹底）。
- ・ 次期 SPC 会議で北里氏が本話題について報告予定。

J-DESC 人材関連案概要報告（木戸） [資料7・8]

- ・ 科学振興調整費（若手研究者の自立的な研究環境整備促進）に申請
  - ・ 「機構内競争環境の構築による若手研究者の自立促進（仮称）」
- ・ 科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業に申請
  - ・ 「海洋地球科学研究推進のためのサイエンスコーディネーター等の育成」

大学 & 博物館キャンペーンの協力者（大学・研究機関の職員）への「サンクスレター」送付について（木戸） [資料7・9]

- ・ キャンペーン等を手伝ってくれた若手研究者等に、要望があれば送付する。
- ・ 原案を事務局で作成する。

「国際会議開催文書について」のアンケート結果報告（事務局） [資料7・10]

- ・ アンケート集積に至った経緯を説明し、内容についてコメント等があれば事務局までに連絡をして頂く。

J-DESC事務局よりの要請事項（事務局） [資料7・11]

- ・ 国際SASパネル会議報告、専門部会議事録等の提出を改めて要請した。
- ・ 個人レベル（IODP関係者）のメーリングリスト作成を検討する。

J-DESCホームページ（HP）の整備について（事務局） [資料7・12]

- ・ 改訂の方向で話を進め（見本作成）、ドメインネーム取得についても検討する。
- ・ 予算執行は来年度に実施する。

J-DESC新パンフレットについて（事務局） [資料7・13]

- ・ 次回執行部までに内容をつめておく。
- ・ 予算執行は来年度に実施する。

J-DESC ニュースレターについて（事務局） [資料7・14]

- ・ 次回執行部までに内容をつめておく。
- ・ 原稿の依頼を開始する。
- ・ 予算執行は来年度に実施する。

その他

- ・ 次回執行部会日程

3月13日（月）の週で事務局が日程調整をすることが確認された。

以上